

政策名		物流・産業	責任者	港営部 港湾管理事務所長
施策名		産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成		
事務事業名		臨港道路の維持管理	連絡先	052-398-0503
目的	対象(誰・何を)	臨港道路	連携課	事業推進課、工事課、港湾工事事務所
	意図(どういう状態にしたいか)	通行車両の安全かつ快適な走行を確保します。	事業期間	昭和26年度～継続
概要		臨港道路を巡視することにより、損傷した箇所があれば速やかに応急処置を行います。	根拠法令等	名古屋港港湾施設条例
活動内容	臨港道路の巡視、障害物の除去、損傷箇所の補修を行います。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	20,884	19,765	26,702	22,450	平成28年度の事業費増加については、「木場金岡2号線西側緩衝緑地内」側溝等清掃処分業務委託の事業費によるものです。
人件費	千円	15,575	16,337	16,389	16,100	
合計	千円	36,459	36,102	43,091	38,551	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
道路損傷等に起因する事故件数(件)	目標	0	0	0		0	道路を管理する立場として、道路損傷等に起因する事故件数を0件にすることは重要な責務と考えます。	
	実績	0	0	0				
	事業進捗状況(28年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
補修箇所(箇所)	目標	-	-	-		-		
	実績	289	326	246				
	事業進捗状況(28年度)			-				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)		管理瑕疵に起因する事故件数は、0件であり、良好に道路が維持されていると評価します。						
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○	陸上輸送では臨港道路を100%利用します。臨港道路の管理は本組合に課せられた責務であり、利用者の安全を確保する必要があります。また、物流活動において臨港道路を良好に保つことは重要であり、利用者ニーズに適しています。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか？	○	臨港道路の良好な状態は港湾の物流機能の維持に貢献しています。また、道路管理瑕疵に起因する事故件数は、近年0件であり、期待どおりの成果が得られています。					
	期待どおりの成果が得られているか？	○						
効率性	最小のコストとなっているか？	○	本組合は道路管理者として通行の安全を確保する責務があるため、臨港道路を巡視することにより損傷箇所を早期に発見し、応急的補修等を必要最低限のコストにより、良好な状態の臨港道路をユーザーに提供しております。					

4 ACTION(取組)

課題	29年度以降の取組
臨港道路を良好に維持することにより、通行車両の安全かつ快適な走行を確保していくことが課題です。	事故防止などの安全対策を維持して行っていきます。